

盲導犬のルーツを探る

⑪

現在国内で活躍している犬種

ラブラドル・トリバー (Labrador Retriever)

カナダのニューファンドランド島原産で、「ラブラドル」という名前は、同じカナダのラブラドル半島に由来。元々は、カナダ東海岸で漁師の助手として網を引いたりこぼれた魚を運んだりする作業犬で、現在、盲導犬をはじめ介助犬や警察犬など幅広く活躍。盲導犬として活躍する犬種で、最も数が多い犬種。たれた耳とアーモンド形の目で優しい顔立ちをしており、太く長めの毛の間に短くやわらかい下毛が生えている「ダブルコート」。活発で順応性が高く、人と作業することを楽しめる性格で、訓練しやすいとされている。体重はオスで27～36kg、メスで23～32kgくらい。ブラック・イエロー・チョコレートの3種類の毛色がある。



ゴールデン・トリバー (Golden Retriever)

イギリス原産の大型犬で、19世紀にスコットランドで改良されて誕生した犬種。猟師の合図で、打ち落とした水鳥を取りに行き、持ち帰るといった作業をしていた。ラブラドルに比べて毛足が長く、密度も少ない。胸元や足の後ろ側などにやや長い飾り毛が生えており、名前の通り、明るいクリーム系からやや暗い赤みがかったものまで、多彩なゴールド色の毛並みが特徴。体重はオスで29～34kg、メスで26～32kg。温和で人といふことを好む性格で、知的で細やかな気配りができる繊細さを持っている。



ミックス (Mix Breed)

ラブラドルとゴールデン、ラブラドルとスタンダードプードルなどを掛け合わせたミックス犬。それぞれの犬種のいいところを合わせる目的で交配している。